

ノリ糸状体情報 第1号

平成26年6月20日
福岡県水産海洋技術センター
有明海研究所

1. 糸状体の生育状況

5月28日から6月18日にかけて計188軒の培養場巡回を行いました。糸状体の生育状況をA（良好）、B（普通）、C（遅れ気味）の3段階で評価した結果、A：120軒、B：53軒、C：15軒で、概ね順調に生長していました。

2. 病気・生理障害

巡回では病気、生理障害等はみられませんでした。また、研究所への持ち込みのカキ殻でも病気、障害等は認められていません。

3. 今後の管理（梅雨明けまで）

梅雨時期は、日照不足の影響で、生長不良などのトラブルが発生しやすくなります。カキ殻の状態をこまめにチェックし、適切な管理に努めてください。

また、雨で海の比重が下がる前に、比重の高い海水を十分に確保しておいてください。

水温：今後、徐々に上昇してきますので、28℃以上にならないように注意してください。

比重：現場比重で21～22を目安としてください。差し水は定期的に行い、蒸発して減った分だけ水道水を入れてください。

明るさ：晴れた日の日中で、平面培養は500～800ルクス、垂下培養は1,000～1,500ルクスを目安に調節してください。
また、光線を補うために電灯を使用している場合、夜間は消灯してください（胞子のうが出来にくくなります）。

水換え：急激に水温や比重が変わらないように注意して、適宜行ってください。また、糸状体を枯死させないように、カキ殻の乾燥には十分注意してください。水換え時には栄養剤を規定量入れてください。